



すばる

發行所
(株)鳥久
東京都大田区蒲田1-8-12
電話 03(5703)7575
発行人 小原秀之
印刷所 三盛商事(株)



吉野藏王堂 桃山時代に再建された吉野藏王堂。中には七メートルを超える巨大な怒りの形相をした蔵王権現(ごんげん)像が安置され、秘仏として八十年に一度だけ開帳になる。権現とは、仮にあらわれるという意味で、諸仏が姿を変えたものであり、蔵王権現は役行者が感得したとされ、どこか不道明王にも似ているが日本独自の造仏である。

「弘法さん」あるいは、「お大使さん」といえば空海のことだが、これほど大衆に今まで親しまれながらもその実像が今ひとつよく分からぬ人物も珍しいかもしれない。

一方で「弘法も筆のやまい」「弘法筆をえらばず」ということわざも生きているように、書道の名手としても知られている。

空海は、教科書などには遣唐使の一員として唐に留学。印度伝来の密教と日本に請來して真言宗の開祖。というくらいの記述しかないが、日本歴史上、最大の天才といつていいかも知れない。それは、レオナルド・ダ・ヴィンチ型のマルチな才能の持主でそれゆえにあまりのスケールの大きさにほんろうされて、明治以降の知識人の物差しからはみ出てしまつて、その評価は必ずしも高くなかつた。

知識人たちは、どちらかといふと親鸞のような芸的な宗教家を好んでいた傾向があった。それが今日、自然や環境のこと、地球や宇宙のことなど大きく出てきたところで空海の思想の偉大さに改めて気がついたというのが本当のところではないだろうか。

空海はまさに、混沌の思想家と呼ぶにふさわしい。



空海（弘法大師）は山伏だつた！！

吉野・高野山・槇尾ゴーリントライアングル

なぜ空海がそのような人物になり得たのか、もともとの資質というものがもつたにせよ、にかその人間形成に及ぼしたきっかけがあつたはずである。

今から約千二百年前、奈良時代から平安時代のはじめ頃、というの、単に都を遷したとだけではなく、さまざまな事件が勃発した激動の変革期だった。そういう時代だからこそ、時代が天才を必要としたのかもしれない。

空海は、哲学者にして宗教家、教育家でもあり土木工学家であり、そして芸術家だった。まるでインド渡来の八面六臂(ろっぴ)の仏像を思わせるような活躍は、日本文化の多方面に計り知れない影響を与えてきた。

名は体をあらわすというが、空と海がひとつになつたそのスケールの大きさは、汎ユーラシア的な国際文化を一身に集めて日本に持ち込んだ人物だった。

空海は、讃岐(香川県)に生まれ、奈良の都の大学に入るがほどなく中退してしまう。そして、約7年間の空白の後、突然遣唐船に乗ることになる。

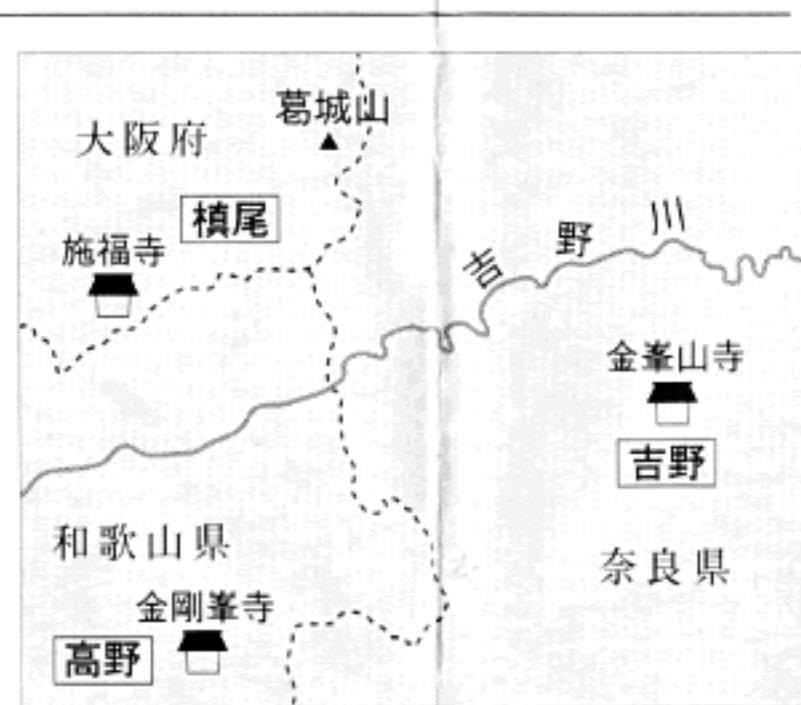
この若き日の多情多感な時代につたい何があつたのか、その謎の時代を追いかけて、吉野から紀ノ川沿いを取材してみた。

地図を見れば分かる通り、紀ノ川の南岸には、吉野と高野山の地が双子のように並んでいる。なぜ晩年の空海は密教の修行道場をここに定めたのか。京の都から遠すぎず近すぎずだけの地の理だけではなく、何か大きな理由があるはずである。

紀ノ川を挟んで対岸に、施福寺(せふくじ)という寺がある。福寺(せふくじ)といふ寺が僧になるために正式に剃髪した寺であり、また唐から帰ってきたものの二十年の国禁を破った寺であります。その寺で、また唐から帰つての帰國であったために、都にあがる許可が下りず、この寺にしばらくとどまつて、いたとされる。それほどこの寺は空海にしぶらくとどまつて、いたとされる。それほどこの寺は空海にとってホームグラウンドのような場所だったわけだ。



蔵王堂前の古い門前町のなかに、昔ながらの陀羅尼助(だらにすけ)を売る店。黒光りした看板が老舗の格調を誇る。修驗道には薬草がつきもので、山伏たちは技術者でもあった。



人情というもっとも基本的な信頼関係を学び築いていくのにもかかわらず、欠落した人間には損得勘定しか残らない。義理人情などというのは今どき流行らないようでも、すべてはここに尽きる。ここからしか夢も希望も手に入れることはできない。



丹生(にう)神社。古代においては貴重な朱の原料となる水銀を丹というが、水銀が採れた丹生川のほとりの由緒ある神社で水の神として祀られている。古代信仰の上空海と深いかかわりをもつと考えられる。



梵字「藏王権現」の書。日本修験道はインドから渡来した密教を、日本独自の民族宗教である山岳修験道の正体は、まず第二に修験者Ⅱ山伏ということであった。

日本独自と先に述べたが、山に伏し、野に伏し、大自然の山中に分け入り、心身を鍛え、超自然的な神仏の能力を得ようとするものである。

精神と肉体を通して、大自然、宇宙と人間の存在、そして生命の在り方を感得する実践宗教なのである。つまり、自分自身が大自然の一部になりきること、これが日本の佛教的一大特徴であり、修験道なのである。

さらには、この修験道の所作や儀式作法に、すでに空海以前から中国や朝鮮を経て密教の大半が日本へ傳来したことである。日本では、今でも○○山○寺と必ずアマニに山号がつく。これこそ日本佛教の出発は山岳にあることの証明であり、印度や中国にもない呼称である。

日本は、今でも○○山○寺と必ずアマニに山号がつく。これこそ日本佛教の出発は山岳にあることの証明であり、印度や中国にもない呼称である。

吉野、施福寺、高野山を結ぶ三角形は、空海の修験哲学のゴルデン・トライアングルであり、あいだを貫く紀ノ川は瀬戸内海に注ぎ込み、さらに東シナ海を経て大陸と結ばれている、という大きな鳥の眼のような意識で地理をとらえていたのではな

いだろうか。

若き日の空海は、山岳修験者の群れに身を投じていたとされ、この施福寺をベースに吉野の山々から高野の地は、自分の庭のような土地だったに違いない。

施福寺の東方はるか吉野の対岸は修験道の開祖役小角(えんのうづね)の生まれた葛城山系が広がり、吉野の山も白鳳時

往時の山岳宗教寺院の名残りを今に伝えている。



施福寺山門。横尾山頂にある本堂までこの山門から急峻な山道を約四十分歩かねばならない。

山洞川(どろがわ)温泉街の風景。吉野の中深くに忽然と温泉街が並ぶ。竜泉寺のようなどころで講といふ日本独自の運営組織が今も生きている。

波羅はパラダイス!!

お經というのは、お釈迦さまが涅槃(ねはん)に入られた後に弟子達が集まって「私はお釈迦さまから、いつどこで何を聞いた」という事を書いたのが始まりだ。お釈迦さまが亡くなられた時の模様が書かれた、涅槃図という仏画がある。お釈迦さまは沙羅双樹の木や弟子たち、また多くの動物に囲まれていた。その中で「人笑っているのが天の邪鬼(あまのじやく)だ。お釈迦さまは頭を北向きに西に顔を向けて横たわり、入滅(にゅうめつ・死くなること)されたといわれている。人間が亡くなると北向きにするのは、ここからくる。よって北向きに寝ると縁起が悪いといわれている。しかし、お釈迦さまは普段よりこの形で寝ていたのではないかと思う。地球自体は大きな場というのは、磁石が北を向くようになっている。磁石を応用した健康器具があるが、お釈迦さまは自然の力を利用していたのだろう。また北向きは頭寒足熱で、西面は内臓に良い体形だ。食べた後は、右を下に横たわると消化に良いといわれている。最初のお經は、貝多羅葉(ばいたらよう)という木の葉に書き写した。紙がまだ出来ないころは、葉に針のようなもので傷をつけ文字を刻んだ。

お經という漢字は、機織の経糸という意味だ。お經をサンスクリット語で「ストラ」というが、経糸という意味もある。経糸に対して緯糸という意味だ。「紐をくるくると巻いた書物が、巻で一本の紐で編んだものが編だ。

このお經の中には、「不」と「無」という字が多く出てくる。「不生不滅不垢不淨不增不減」、生じたり滅したりすることなく、きれいも汚いもなく、増えもしない減りもしない。「無眼耳鼻舌身意無色声香味触法」眼・耳・鼻・舌・身意が無ければそれに対応する色・声・香・味・触感もなく、勿体無いし有り難いけど、その恩返しは「生かつても済まない。我々が生きて行ける事自体、「勿体無く」が有難く済まない」のである。



昂 < す ば る >



江戸時代から當々と受け継がれてきた漁業技術がある。生業（なりわい）の海に適した方法、道具を使い、決して必要以上に魚を捕らず、海を愛し、恐れ、感謝してきた海民の子孫がこの芝・金杉で今でも生活している。

一「喫水」(きつすい)がいい
東京湾を傷つけた代償は、現在受けている恩恵と比べてもまだかなりのお釣りが来るのでないだらうか。

海苔の養殖以外に当然のこととして延縄(はえなわ)漁や投網(とあみ)漁などの伝統的な沿岸漁業も急速に姿を消していくものの、何とか自由漁業は生き残った(今でもスズキ、アナゴ、カレイなどの漁を続いている人はいる)が、保証対象外であることからお上から補償料がおりなかつたため、補償を受けられた人との間にかなりの格差が生まれた。しかし芝・金杉の漁師の仕事は海苔や自由操業だけではない。

「遊船」である。

りながら食べ、余つたら土産にするといったもので、新橋や神明の町屋あたりで芸者と遊んだ日那衆が、フラつと来るような「粹」な遊びとされるハイライトは船頭の網打ちだまでもお客さん見やすくするために、網船の前方でお客さんの方を向いて立ち、反動をつけて右斜め方向に投げ出す網が綺麗に開ききり、水面に対し水平に投げ出されるが、周囲に配置された重りのため半球状で水面へと落ちていくここまでできるようになるのは人によつて十年はかかると言われている。但しくら網打ちがうまくても、魚が捕れなければ話にならない。針を使う漁法と違い、魚影が濃い時間、場所を選んで網を打たねばならないため、遠浅で綺麗な海がないと成り立たない漁法である。

取材協力 金杉橋「網長」
参考著書「江戸前の海民」
木下達文（港区教育委員会発行）
(敬称略)
* 喫水がいいー漁師言葉ー東京湾は大きな河川が集中しているため、多くの泥や砂が粘土質の海底を形成し、遠浅や干潟が出来ることで自然生物が繁殖しやすくなり、ゆえに多くの魚類が生息でき、水質が大変良かつた。

金杉橋は日本橋からちょうど一里（四キロ）の所にあり江戸内と江戸外の境であつた今ではその日本橋と同様、橋上を首都高速道路が走り、下町風情のある町並みは見られないが、安いランチメニューの品書きを覗き込みながらこの町を歩いていると、今まで代々受け継いでいる海民下町魂を感じずにはいられない。

「遊船」とは、船にお客様を乗せて遊ばせることで、海苔の養殖に次ぐ漁師たちの主要な副業であった。海苔は専門にやる人もいたが、遊船はみな副業である。網船、釣船、繩船、涼み船、潮干船などがあつたが、今では大型化した「屋形船」や乗合や仕立の「釣船」として受け継がれている。

それもかなりの勝前が一かど
何かで読んだ記憶がある。趣
味人の習い事にでもなつてい
のだろうか。

芝 金杉の 粹な船遊び

ぶらり、東京探訪

しかし投網を見せるパフォーマンスは、昭和四十年代以来も行われていた。たゞが、

印刷のことなら
ハガキ・名刺・チラシ
伝票・封筒・カタログ
CTP製版・DTP編集
オンデマンド出力etc

サンセイ
三盛商事株式会社
大田区大森北4-20-12
TEL 03-3762-7591



日通旅行
NIPPON EXPRESS

日本通運株式会社 首都圏旅行支店
tel : 03-6251-6351 fax : 03-6251-6361
e-mail : tea-masuda@nittsu.co.jp

はまだ歯科診療所

医療法人社団 亮和会 はまだ歯科診療所 理事長 浜田亮太
〒143-0016 東京都大田区大森北 6-28-6-2F TEL 03-3768-9614

診療時間 月～金曜日 AM10:00～PM1:30／PM3:00～9:00
土曜日 AM10:00～PM1:30／PM3:00～6:00
休診日 日曜日・祝祭日

1000-1000-1000

羽田名物
核山せん巻

KEIHIN TENT

テント・装飾 大型 日除 倉庫 集会用
看板・カッティング文字 インクジェット
アクリ電飾 ネオン 金文字

株式会社 京浜テント

〒144-0052 大田区蒲田1-8-14 インテリア・ジュータン カーテン 壁紙
TEL 3733-3561(代) FAX 3738-7110 ブラインド 床 鉄骨金物
U R L: <http://www.keihintent.co.jp> その他・シート カバー 旗 幕 袋物
Email: info@keihintent.co.jp

リフォーム&看板 事業部 快適空間

創業昭和3年鳥専門の弁当屋

蒲田 沖久

皇夕本店 大田区蒲田 1-8-12

烏久本店 大田区蒲田 1-8
☎ 03-3731-5888 (配達受付)
営業時間 6時30分～18時
(売り切れ閉店)

サンカマタ地階店 JR 駅ビル地下
☎ 03-3738-0880
営業時間 10時～20時30分

